

日本共産党議員団、4名に躍進

全常任委員会で委員確保、議案提案権獲得

27日投票の市議選は旧上越市区、頸城区、吉川区、名立区の4選挙区で競争となりましたが、日本共産党は名立区を除く3選挙区に4候補をたて、たたかいました。その結果、定数1の吉川区で議席を守り、定数2の頸城区でトップ当選、旧上越市区（定数30）でも2人の候補者が高位当選しました。

今回の選挙では市民の暮らしを守る党、人は誰かが問われました。日本共産党の各候補は後期高齢者医療制度の廃止、国保税の引き下げなどをかけ奮闘しました。今回の選挙結果について、日本共産党の市田書記局長は28日、国会内での記者会見で定数一の吉川区と、定数二の頸城区でも当選した意義を強調。「上越市議選では、国の悪政に堂々ともを言える政党・候補者でなければ、市民の暮らしも地域経済も守ることはできないことに共感が広がった」とのべました。全国的に波紋を呼びそうです。

選挙は大激戦でした。特に最大の激戦区といわれた吉川区では、相手陣営は自民党の県議や無競争となった区選出の市議、地元建設業者などの応援を受けて、議席を奪還し

ようと総力戦を展開しました。これに対して橋爪陣営は、近隣党組織だけでなく、市民派議員など共産党以外の支援も広く受けて応戦、最後までねばりぬいて議席を確保しました。

日本共産党の各候補の得票は左表の通りです。

新しい日本共産党議員団の団長に 橋爪議員（吉川区選出）が就任

日本共産党議員団は28日から活動を始めました。引退した杉本議員にかわって議員団長を務めることになったのは市議2期目の橋爪法一議員です。

橋爪団長は、「新しい議員団は各議員の個性を活かし、市民の暮らしを応援する市政を目指していきたい。チームワークが大切なので、よく話し合って、がんばりたい」と抱負を語っています。



街頭で訴える日本共産党の新議員団（左から橋爪法一、樋口良子、上野公悦、平良木哲也の各議員）と杉本前議員。28日午後、市役所前の通りで「しんぶん赤旗」記者撮影。

前回の市議選との比較

（頸城・吉川は市議増員選との比較）

	今回の得票	前回の得票	票の増減	当選順位
橋爪法一 （吉川）	1898	1783	+115	1
上野公悦 （頸城）	1931	1173	+758	1
樋口良子 （旧上越）	2203	2121	+82	8
平良木哲也 （旧上越）	2518	1938 （杉本票）	+580	5

選挙戦の取り組みがあり、久しぶりの発行となりました。今後は手分けして議員団ニュースを作成してまいります。作成者の個性もでてくるはずですが、どうぞ、よろしくお願ひします。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.130 2008年5月4日
連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
樋口良子 544-6802 (中門前3)
橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)



ネコノメソウ。大島区板山にて撮影